

# 一般社団法人 山形県言語聴覚士会 会報

平成 28 年 7 月号

## 会長 挨拶

第 42 号会報に寄せて

山形県言語聴覚士会  
会長 田口 充

山形県言語聴覚士会が一般社団法人山形県言語聴覚士会として新たな一歩を踏み出すことになりました。言語聴覚士は言語聴覚士法が制定されてから 18 年という非常に若い国家資格であります。山形県でも県民のみなさまに質の高いサービスを提供し、その生活の質の向上と社会参加を支援することを願い、そしてそれに応えるための組織として 13 年前に山形県言語聴覚士会を立ち上げました。発足当時は県内で約四十人と非常に小さな団体でしたが、みなさまのご理解とご支援もあり現在では 160 名を超える団体となりました。これも言語聴覚士法制定前からご活躍されてきた諸先輩方のご尽力によるものと思います。心から感謝を申し上げます。

さて超高齢社会の到来とともに現役世代の人口が減少し、人々の健康の質を保ちながらも限られた財源で支えるために税と社会保障の一体改革の名の下に様々な政策が立てられています。また、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を目途に地域包括ケアシステムの構築を進めています。リハビリテーション体制の関連項目としては、病院の機能分化による効率的医療の提供・在院日数の短縮、地域医療の充実、そして介護分野においては生活期リハビリテーションにおける活動と参加に軸をおいた、リハビリテーションの提供、地域支援事業として介護予防への専門職の積極的関与があげられます。リハビリテーション医療界には、一層の成果を求められる時代であると同時にリハビリテーションがさらに重要視されていることも事実であります。言語聴覚士が地域の中で機能回復を目指した取り組みや、生活期または予防のための地域支援事業への寄与などの準備を、さらに深めていく必要がある時期に差し掛かっています。このようにめまぐるしく変化していく医療情勢に対応するためには、地域からの「信頼」が必要不可欠であります。今後も医療・福祉・介護の重要性が高まり言語聴覚士の有資格者が増加していくものと思われます。この度、一般社団法人化になったことは今後の山形県の言語聴覚士の発展において貴重な転換期となることに間違いありません。この法人化を通して言語聴覚士の役割と言語聴覚療法のあるべき姿を検討する重要な機会になる事かと思えます。一般社団法人化が今後の発展をめざす新たなスタートとなることを念じております。最後に、皆様のご健勝とご発展を祈念するとともに、挨拶の言葉に代えさせていただきます。

## 役員会 議事録

- 『第108回』 日 時：平成28年4月10日 9：30～13：00 山形市総合福祉センター  
参加者：田口、石川、荒井、横尾、千葉、菅根、会田、横山、大友  
内 容：①各部門から報告  
②総会・研修会  
③地域包括ケア・市町村介護予防事業  
④事業総括・計画  
⑤法人化
- 『第109回』 日 時：平成28年4月23日 9：30～13：00 山形市総合福祉センター  
参加者：田口、荒井、石川、横尾、伊藤、斉藤、大友  
内 容：①各部門から報告  
②総会・研修会  
③決算・予算案  
④地域包括ケア・市町村介護予防事業  
⑤事業総括・計画
- 『第110回』 日 時：平成28年5月29日 9：30～15：00 ことばのダイルーム奏  
参加者：田口、石川、横尾、千葉、伊藤  
内 容：①各部門から報告  
②総会・研修会  
③地域包括ケア・市町村介護予防事業  
④法人化
- 『第111回』 日 時：平成28年6月25日 9：00～12：00 山形市総合福祉センター  
参加者：田口、伊東、石川、荒井、横尾、菅根、斉藤、横山、大友  
内 容：①各部署からの報告  
②総会・研修会  
③地域包括ケア・市町村介護予防事業  
④法人化
- 『第112回』 日 時：平成28年7月2日 15：30～17：00 山形市保健センター  
参加者：田口、石川、荒井、横尾、菅根、斉藤、横山、千葉、伊藤、大友  
内 容：①総会・研修会の反省  
②地域包括ケア推進事業  
③学校教育関係者連絡担当者協議会の件  
④その他

# 平成28年度 山形県言語聴覚士会 定期総会議事録

日程 平成28年7月2日(土) 10:30～

場所 山形市保健センター(霞城セントラル)

参加 58名(正会員162名 委任状 76名)

議長 梁瀬 文子(山形済生病院)

総合司会 大友 美香(三友堂リハビリセンター)

## I. 内容

1. 開会の言葉 伊東 真一(日本海総合病院酒田医療センター)

2. 会長挨拶 田口 充(鶴岡協立リハビリテーション病院)

3. 定数報告

報告者: 石川 良子(事務局:ことばのデイルーム奏)

参加者 58名(正会員162名 新会員承認済) 委任状76名 計143名

現会員数162名

現会員数の2/3以上の出席者

数規約第10条(1)より総会成立

4. 議長団選出

立候補なし 役員会より選出

議長 梁瀬 文子(山形済生病院)

書記 佐藤 果菜美(鶴岡協立リハビリテーション病院)

議事録署名人 細谷 彩織/菊池 美保(三友堂リハビリテーションセンター)

5. 議題検討 質疑応答 決議

6. 閉会の言葉 伊東 真一(日本海総合病院酒田医療センター)

## II. 議題

1. 平成27年度活動報告・収支決算報告

(1) 平成27年度言語聴覚士会役員会活動報告

報告者: 大友美香(三友堂リハビリテーションセンター)

総括: 田口 充(鶴岡協立リハビリテーション病院)

- ・研修会を2回行った(6月、11月)
- ・訪問リハビリテーション実務委員会に会員が参加
- ・刊行物ではメールマガジンを有効活用
- ・地域包括ケアシステムの構築で行政、他団体と連携

挙手をもって賛成多数となり承認

(2) 平成27年度地域リハビリテーション研修会実行委員会活動報告

報告者：荒井 晋一（リバーヒル長井）

- ・リハビリテーションスタッフの名簿作成
- ・連携手帳の増刷・配布

挙手をもって賛成多数となり承認

(3) 平成27年度訪問リハビリテーション実務研修委員会活動報告

報告者：鈴木 裕子（ブレインクリニック妻沼）

- ・7月に研修会を実施

挙手をもって賛成多数となり承認

(4) 事業報告

報告者：沼澤 明日美（新庄徳洲会病院）

- ・最上地区における在宅での嚥下治療に対する研修を実施（計80名参加）
- ・カフェ型トークでの意見交換（計23名参加）
- ・報告書を作成

挙手をもって賛成多数となり承認

2. 平成27年度収支決算報告

(1) 平成27年度言語聴覚士会会計決算報告

報告者：伊藤 希（庄内余目病院）

会計監査報告：五十嵐 知依（鶴岡市立荘内病院）

挙手をもって賛成多数となり承認

3. その他議題

(1) 一般社団法人山形言語聴覚士会への移行について

報告者：伊東 真一（日本海総合病院酒田医療センター）

挙手をもって賛成多数となり承認

4. 閉会の言葉 伊東 真一（日本海総合病院酒田医療センター）

終了時刻 11:00

# 平成28年度 一般社団法人山形県言語聴覚士会

## 定期総会 議事録

日程 平成28年7月2日(土) 11:00～

場所 山形市保健センター(霞城セントラル)

参加 58名(正会員162名 委任状 76名)

議長 梁瀬 文子(山形済生病院)

総合司会 大友 美香(三友堂リハビリセンター)

### I. 内容

1. 開会の言葉 伊東 真一(日本海総合病院酒田医療センター)

2. 会長挨拶 田口 充(鶴岡協立リハビリテーション病院)

3. 定数報告

報告者:石川 良子(事務局:ことばのダイルーム奏)

参加者 58名(正会員162名 新会員承認済) 委任状76名 計143名

現会員数162名

現会員数の2/3以上の出席者

数規約第10条(1)より総会成立

4. 議長団選出

立候補なし 役員会より選出

議長 梁瀬 文子(山形済生病院)

書記 佐藤 果菜美(鶴岡協立リハビリテーション病院)

議事録署名人 細谷 彩織/菊池 美保(三友堂リハビリテーションセンター)

5. 議題検討 質疑応答 決議

6. 閉会の言葉 伊東 真一(日本海総合病院酒田医療センター)

### II. 議題

1. 平成28年度活動計画(案)に関する件

提案:田口 充(鶴岡協立リハビリテーション病院)

・法人化の記念式典、記念講演を10月29日に予定(講師:藤島一郎先生)

今後のSTの発展のため、積極的に参加してほしい

・地域ケア会議へ4月からSTも参加している→人材の育成のため、研修会を行う

・一般社団法人化における組織図の整理を予定

挙手をもって賛成多数となり承認

2. 平成28年度会計予算（案）に関する件

提案：齋藤 美紗子（鶴岡協立リハビリテーション病院）

挙手をもって賛成多数となり承認

3. 一般社団法人山形言語聴覚士会組織図について

提案：田口 充（鶴岡協立リハビリテーション病院）

・ブロックごとにリーダーを決め、地域ごとの窓口を配置

質疑応答

問1 質問者：伊藤 誠（特別養護老人ホーム長生園）

学術局学会部というのは県士会で学会を開くということか？

答1 回答者：田口 充（鶴岡協立リハビリテーション病院）

会員も増えてきたので、将来的には学会（県内学会も含め）を行っていきたいという目的で設立した。

挙手をもって賛成多数となり承認

4. 地域包括ケアシステムについて

提案：荒井 晋一（リバーヒル長井）

挙手をもって賛成多数となり承認

5. 会費について

提案：田口 充（鶴岡協立リハビリテーション病院）

・来年度から7000円へ変更する。

今後、会員の増加に伴い総会・研修会時に会場費が生じる会場を使わざるを得ない。また、研修の充実として、県内の各ブロックに研修費を振り分けたい、等の理由にて。

挙手をもって賛成多数となり承認

6. その他議題

特になし

7. 閉会の言葉 伊東 真一（日本海総合病院酒田医療センター）

終了時刻 11:40

## 平成 28 年度 一般社団法人山形県言語聴覚士会 第 1 回研修会

7月2日、総会後に第1回研修会を開催しました。

今回は、「地域における聴覚障害とコミュニケーション」と題し、2部構成の研修会となりました。第1部では、山形大学医学部附属病院 ST の千葉寛之氏より、基礎知識から現場対応についてご講演いただきました。第2部では、県内を中心に補聴サービスを展開している株式会社秀電社の山口吉昭氏より補聴器の基礎知識とフィッティングについてご講演いただきました。

講演後、補聴器メーカー毎にブースを設置し、視聴体験や各種機能の説明等が開催されました。実際に補聴器を通した音を聞くことや難聴者の疑似体験等を行うことで、いかに難聴により QOL が低下しているかを感じることができたかと思います。今日の研修会を機に臨床の場で難聴に目を向け、耳を傾けてみるとよいかと思います。



## 新人紹介



医療法人篠田好生会 篠田総合病院  
リハビリテーションセンター

三澤健太  
松田誠美

山形県山形市出身 国際メディカルテクノロジー専門学校 言語聴覚士科卒

私が言語聴覚士を目指そうと思ったきっかけは、高校生の頃に進路に迷っていた際、知人に言語聴覚士という職業を紹介されたことでした。仕事の内容などを自分なりに調べていくうちに、日常的な会話などのコミュニケーションや食事を摂ることなど、人々がいつも当たり前に行っていることを支える仕事だと知り、自分も言語聴覚士として日常的な生活の支えになっていきたいと思いました。

4月から入職させていただき感じた事は、患者様1人1人と向き合う大切さです。まだまだ分からないことも多い中、何人かの患者様を担当させていただくうちに、1人の患者様にきちんと目を向けることが疎かになってしまい、正確な評価や訓練に繋がらなくなってしまいました。今後は、患者様1人1人と真摯に向き合い、その患者様ごとに適したリハビリが行えるような言語聴覚士を目指して努力していきたいと思います。

三澤健太

山形県寒河江市出身 国際メディカルテクノロジー専門学校 言語聴覚士科卒

私が言語聴覚士を目指した理由は、高校生の時に障害者支援施設で実習をさせていただいた際、失語症の方とコミュニケーションがうまく取れない事にもどかしさを感じ、このような方をサポートしたいと思ったからです。進路を決める際、言語聴覚士という職業を知り、話すことや聴くこと、そして食べること等幅広い分野で人と関われるというところに興味を持ち、より言語聴覚士になりたいと思いました。

言語聴覚士として働かせていただき、感じた事は患者様の立場に立って考える事の大切さです。まだまだ慣れない部分もあり、評価結果等にとらわれてしまい患者様の小さな変化を見逃してしまっていました。今後は、患者様の日常生活にも目を向け患者様の能力を引き出せるような言語聴覚士を目指して精一杯頑張っていきたいと思います。

松田誠美

広報より:今後も今年度新入会員の方にお問い合わせの予定でおります。よろしくお願いたします。



## 会計より

平成28年度の年会費を納入して頂きますようお願い申し上げます。  
7月より振込先の銀行口座が下記に変更になっておりますのでご注意ください。

入会金:1000 円(新規会員のみ)

会 員:5000 円

準会員:3000 円

[振込口座] 振込支店名 : 山形銀行 文園(フミゾノ)支店

預金種目 : 普通預金

店番号 : 575

口座番号 : 213292

口座名義人 : 一般社団法人 山形県言語聴覚士会

代表 田口充

---

## 事務局より

☆新年度のST士会名簿郵送を希望される方は、事務局までメールもしくはFAXでご請求下さい。(所属とお名前をお願いします。各施設に1部の発送となります。)

☆県士会からの郵便物に関して、原則職場に送付させて頂いております。一人職場のかたにかぎり、ご自宅へ郵送希望をお受けしています。ご了承ください。

☆退会・変更届について

当会の退会を希望される方、職場や郵便物送付先や姓の変更等を申し出る方は、届出を事務局に郵送またはFAXにてご送付ください。

「入会届」「退会届」「変更届」は当会HPからダウンロード可能です。もしくは事務局にご連絡頂ければ、郵送にてお渡ししています。

☆当県士会は日本言語聴覚士協会の下部組織となっている為、できるだけ多くの会員の皆様に協会への入会をお願いしております。

新入・退会・異動等会員情報(平成28年7月2日現在)

正会員数は162名・準会員4名となっています。

〔新入会〕

熊田 礼実（山形県立こども医療センター）  
菊地 美保（三友堂リハビリテーションセンター）  
高橋 宏明（山形ロイヤル病院）  
青木 ゆい（山形済生病院）  
小林 千夏（山形済生病院）  
斉藤 成人（至誠堂総合病院）  
三澤 健太（篠田総合病院）  
松田 誠美（篠田総合病院）  
梅木 彩季（鶴岡協立リハビリテーション病院）  
赤塚 匠（鶴岡協立リハビリテーション病院）

〔所属先変更〕

小松 朋子（県立河北病院 → 県立新庄病院）  
井上 洋平（川西湖山病院 → 介護老人保健施設 ほなみ荘）  
古沢 章菜（みゆき会病院 → やまびこホーム（仙台市））  
剣持 龍介（三友堂リハビリテーションセンター → 三友堂病院）  
宇野 友貴（県立こども医療療育センター → 県立中央病院）  
丸山 幸子（介護老人保健施設フローラ済生 → 済生病院）  
中嶋 友紀（済生病院 → 介護老人保健施設フローラ済生）  
伊藤 由妃（多機能ホーム榎の木 → 指定通所介護事業所 ながまち荘）

〔退会〕

河野 佳朗（介護老人保健施設かがやきの丘）※3月末にて退会

問い合わせ先

一般社団法人 山形県言語聴覚士会事務局

〒990-2313

山形市松原 800-5

合同会社ヴォーチェ まなびのへやバンビーナ松原

TEL：023-674-6015 / FAX：023-674-6106

E-mail：[gengoshikai@yahoo.co.jp](mailto:gengoshikai@yahoo.co.jp)